



## 春を告げる鮮やかな市の鳥

■ 千歳市の鳥は、《コウライキジ》と《ヤマセミ》ということをご存じの方も多いと思います。コウライキジは、その名前のおり大陸から来た外来種といわれています。写真は、3月9日に、根志越遊水地の近くで撮影しました。昔、青葉公園で雛鳥と一緒に1列で歩くコウライキジを見たことがありましたが、最近はなかなか見ることができませんでした。私たちが自然環境と向き合うとき、野生動植物のふるまいを人間の物差しで測ろうとしたり、人間の生活環境と切り離して考えたりしがちです。自然環境そのものが、私たち人間の理解を待たずに変わり続けているのかもしれない。

千歳市自然環境監視員 **加来 俊彦** かく としひこ

《千歳市自然環境監視員》は、市が自然環境の保全のために設置する職員で、必要な監視や指導などの業務を行っています。現在1人の方が従事しています。

あ  
の  
と  
き  
、  
あ  
の  
場  
所

# 瞬きの点景。

SCENERY OF MOMENT

カメラが光を捉えるほんの一瞬。映り込む人物やものごと。千歳ならではの魅力が、残したくなる風景が、そこにある。

広報ちとせ(第1081号)令和2年4月10日発行  
 発行・編集／千歳市企画部広報広聴課  
 〒066-8880 千歳市東雲町2丁目(電話240104 FAX(22)8851)  
 市ホームページアドレス <https://www.city.chitose.lg.jp/>  
 印刷／千歳印刷株式会社



3月29日／松島さんの畑(協和)で撮影

### ■ 今月の表紙

子どもたちが、自宅前の畑でフキノトウを収穫して遊んでいると思いきや、お父さんの真似をしてトラクターへ。「ヤッホー」と大声で叫ぶ表情がなんとも言えません。畑で育つのは、作物だけではなくありません。

■ 令和最初の年度が終わり、広報に携わって半年がたちました。ま  
 ちでは、すっかり雪とけが進み、  
 今年こそ毎年断念している早朝ソ  
 ヨギングに挑戦したいと思ってい  
 るのですが、早起きが最大の苦手  
 して……。お腹の肉も気になります  
 し、どんどん現場に足を運んで取  
 材タイエツトに挑戦したいと思  
 います。目指せ体重3キロ減！  
 ■ 春の息吹を探しにカメラを持つ  
 てあつちこつちへ。協和で農業を  
 している松島さん一家に出会いま  
 した。畑を自由に駆け回る子ども  
 の姿を見てみると、アメリカの作  
 家レイチエル・カーソンの著書  
 《センス・オブ・ワンダー》神秘  
 さや不思議さに目をみはる感性  
 を思い出しました。こんな時期だ  
 かいじく、あつちの一本です。

広報  
 編集後記

■ 視覚に障がいのある方用の「音訳」記事の広報もあります。詳しくは、電話(22)8851-6666まで。